【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公表番号】特表2004-529718(P2004-529718A)
【公表日】平成16年9月30日(2004.9.30)
【年通号数】公開・登録公報2004-038
【出願番号】特願2002-591779(P2002-591779)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｂ　1/00
　Ａ６１Ｂ　5/00
　Ａ６１Ｂ　5/07
　Ａ６１Ｍ　37/00
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　1/00　３２０Ｂ
　Ａ６１Ｂ　5/00　１０１Ｈ
　Ａ６１Ｂ　5/00　１０１Ｍ
　Ａ６１Ｂ　5/07
　Ａ６１Ｍ　37/00

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月22日(2004.1.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
比重が約１である、生体内センシング装置。
【請求項２】
前記センシング装置を体内腔液において本質的に浮揚させることを可能にする体積対重量比を有する、生体内センシング装置。
【請求項３】
少なくとも１つの生体内センサを含む、請求項１または２に記載の生体内センシング装置。
【請求項４】
前記生体内センサは画像センサである、請求項３に記載の生体内センシング装置。
【請求項５】
前記生体内センサは、画像センサ、ｐＨメータ、温度センサ、圧力センサ、剪断応力センサ、電気伝導率のセンサ、またはこれらの組合せを含む群から選択される、請求項３に記載の生体内センシング装置。
【請求項６】
少なくとも１つの照明源をさらに含む、請求項４に記載の生体内センシング装置。
【請求項７】
外部の受信システムに画像データを伝送するための少なくとも１つの送信機をさらに含む、請求項４に記載の生体内センシング装置。
【請求項８】
センサシステムおよび浮揚体を含む、請求項１または２に記載の生体内センシング装置。

【請求項９】
前記浮揚体は前記センサシステムを収容する、請求項８に記載の生体内センシング装置。
【請求項１０】
前記浮揚体は前記センサシステムに取付けられる、請求項８に記載の生体内センシング装置。
【請求項１１】
少なくとも１つの生体内センサを含む、請求項８に記載の生体内センシング装置。
【請求項１２】
前記生体内センサは画像センサである、請求項１１に記載の生体内センシング装置。
【請求項１３】
前記生体内センサは、画像センサ、ｐＨメータ、温度センサ、圧力センサ、剪断応力センサ、電気伝導率のセンサ、またはこれらの組合せを含む群から選択される、請求項１１に記載の生体内センシング装置。
【請求項１４】
少なくとも１つの照明源をさらに含む、請求項１２に記載の生体内センシング装置。
【請求項１５】
外部の受信システムに画像データを伝送するための少なくとも１つの送信機をさらに含む、請求項１２に記載の生体内センシング装置。
【請求項１６】
少なくとも１つの画像センサと少なくとも１つの送信機とを含む、請求項９に記載の生体内センシング装置。
【請求項１７】
前記浮揚体は膨張可能である、請求項８に記載の生体内センシング装置。
【請求項１８】
前記浮揚体は、気体を放出する顆粒を含む、請求項１７に記載の生体内センシング装置。
【請求項１９】
前記浮揚体は、複数の区画と、気体を放出する顆粒を含む少なくとも１つの区画と、液体を含有する少なくとも別の区画とを含む、請求項１７に記載の生体内センシング装置。
【請求項２０】
体内腔を検知するための方法であって、体内腔の中を通して、請求項１または２に従った生体内センシング装置を移動させるステップを含む、方法。
【請求項２１】
大腸を検知するための方法であって、
大腸から内容物を除去するステップと、
大腸を液体で満たすステップと、
請求項１、２または８に従った生体内センシング装置を大腸に与えるステップとを含む、方法。